

シンポジウム 熊本地震から学ぶ

活動した行政・事業者・研究者がそれぞれの立場から教訓を語る

多数の外国人被災者を受け入れた大学では・・・

熊本大学特任助教 安部 美和 氏

熊本県庁では・・・ 前熊本県総務部長 木村 敬 氏

大規模避難所では・・・ 日本YMCA同盟 山根 一毅 氏

熊本支援活動の現場では・横浜YMCA総主事 田口 努 氏

開催日時：2016年11月17日13時30分～16時00分

開催場所：横浜市中区常盤町1丁目7横浜YMCA4階チャペル

主催：横浜YMCA 共催：神奈川ボランティア

後援：神奈川県、横浜市、（一財）防災教育推進協会

参加費：資料代500円

申込み先：神奈川ボランティアホームページ

ksvkumamoto.jimdo.com/ E-mail: kvj@kanagawarb.org

問合せ先：神奈川ボランティア事務局長 秦（090-3226-0090）





前熊本県総務部長
木村 敬 氏

総務省自治財政局公営企業課理事官。東大法学部卒。1999年自治省（現総務省）入省後、岡山県、鳥取県で勤務。

2012年7月より熊本県に出向。当初、今年4月中旬に熊本県を離任予定が、4月14日・16日の熊本地震に遭遇し、GWまで霞が関に戻らず、初動の震災対応に当たった。霞が関帰任後も、5月後半に今度は政府現地対策本部員として、再び熊本に赴任し、被災地と政府の調整に当たった。



日本YMCA同盟
山根 一毅 氏

公益財団法人日本YMCA同盟 協力部門国際担当主任主事

熊本大学卒業後、1991年東京YMCA入職。以後、熊本YMCA、日本YMCA同盟での現場を経て、国際協力・交流・語学教育、野外活動、障がい児支援、専門学校教育などの責任者。

2012年からは日本YMCA同盟協力部門国際担当として海外被災地での支援活動の他、東日本大震災支援活動でのコーディネート活動や、熊本地震発生後から、益城総合体育館での避難所運営に参加。

熊本地震当日 その瞬間から被災者のいのちに寄り添い続けたから言えること
「もう、想定外」という 言い訳は許されない・・・



熊本大学特任助教
（復興政策）
安部 美和 氏

元北九州市消防局消防吏員。2006年4月京都大学大学院入学。2011年3月京都大学大学院地球環境学会博士課程修了。関西大学を経て、2014年1月熊本大学地域創生推進機構 地域創生推進室 特任助教

2016年4月14・16日に発生した熊本地震の際には、学生と一緒に熊本大学黒髪体育館の避難所運営にあたる。熊本大学復興プロジェクトの復興ボランティア活動支援プロジェクトリーダーとして、現在復興支援に従事中。



神奈川災ボラ熊本地震支援実行委員会会長・横浜YMCA総主事
田口 努 氏

横浜YMCA総主事。横須賀災害ボランティアネットワーク元代表、現相談役。新潟中越地震発生時に神奈川県内の様々なボランティア団体と「横浜災害ボランティアバスの会」を立上げ、以降東日本大震災被災地支援活動を現在継続。

現在熊本地震被災地支援のために「神奈川災ボラ熊本地震支援実行委員会・通称神奈川ボラジェット」として支援活動を実施。子ども達が被災地の子どもを支援する「ボランティア参加は、子どもが生きる力を学ぶ場」という支援モデルを提唱。